

教室長から 11月号

個別指導パーソナルワン大河原教室 向山亮

中学校の学習指導要領が改訂され、2021年度から新しい教科書での授業が始まります。数年前から準備されてきた「教育改革」が、いよいよ本格的に動き出すことになりました。「教育改革」の根本思想である「子どもたちに生きる力を育ませる」内容になっているそうですよ。それに伴い学習量が増加します。

☆ ☆ ☆

生徒と接していて、最近感じることがあります。実は、ずいぶん前からうっすらと感じていたことなのですが。成績が優秀な生徒または伸びが良い生徒と、成績が伸びてこない生徒との違いです。私の少ない経験からですが、優秀な生徒、伸びが良い生徒は、自分の成績を気にしています。だから、前回の定期テストの得点・学年順位そして今回と比べてアップしたかダウンしたかをぜんぶ覚えています。

1つ目の特徴は、成績を覚えていることです。

2つ目の特徴は、自分の住所が書けます。

3つ目の特徴は、来週の自分の予定を把握しています。

4つ目の特徴は、家を出る時点で、帰る頃の天気を確認して傘を持っていくか置いていくか判断しています。

「えっ！そんなの当たり前じゃないの。」または「うちの子は全然できてないかも」と思われるのではないのでしょうか。

けれども、上記の4項目ができるようになると成績が伸びるということではないんです。ですから「今すぐ成績と住所を覚えさせましょう。」という話ではありません。

どういうことかと言いますと、成績が伸びる子は、自分に関わるいろんなことを気にしているんです。気にして行動にまで移しているんです。そこが重要なんだと思います。

つまり、「生きる力を育む」というのはこういう些細なこと、と思われることに意識を向けさせることじゃないかと思うんです。勉強のカリキュラムの量で何とかしようとする以前に。

「そんなの自然に身につくことだろう。」「些細なことを気にしない性格だから。」と流してしまうことを、「自然に任せたり性格のせいにしたらだめなんだ。」とまずは大人達が意識することが必要だと思います。そして子ども自身が自分に関わる些細なこと（気にしていなくても何とかなってしまうこと）を、気にする習慣を身に付けるようしむけることではないかと思います。

ことわりを入れておきますが、私は教育改革を否定したり、すべての生徒にあてはまると言っているのではありません。また、「成績が良い生徒＝生きる能力が高い」とも思っていません。

「生きる能力が高い⇒成績も良くなりやすい」ということだと思っています。

大河原教室からのお知らせ

●7時間耐久勉強会について

11月は、11月23日(月)10:00~17:00に行います。

12月は、12月6日(日)10:00~17:00に行います。

●冬期講習会について

学校のお休み期間が短いので今回の冬期講習期間は、11月30日(月)から1月30日(土)までの2ヶ月間を講習期間とします。通常授業のなかに冬期講習で選んでいただいた回数の授業を設定していきます。

12/21(月)から1/3(日)は通常授業が発生しないように調整いたしました。授業の日時をお間違えないようご注意ください。

塾生の方で、申込書、スケジュールの希望の提出がまだの方は11月中にご提出をお願い致します。

●もちものについて

生徒のみなさんへ入退室時の手洗いをお願いしております。濡れた手を拭くハンドタオルまたはハンカチを持たせてください。また、これから寒くなり鼻水が出てしまう季節になります。ポケットティッシュも持たせてください。花粉症や鼻炎等でティッシュが手放せない方はボックスティッシュを持たせてください。

よろしくお願い致します。

●冬期講習会 講習生募集について

中学3年生の募集は締め切っております。

他学年はまだ募集しております。ぜひパーソナルワン大河原教室の授業を体験してみてください。ご連絡をお待ちしております。

個別指導パーソナルワン大河原教室

Tel/FAX 0224-51-5001